

コロナにかからないように でも、コロナにかかった時には

2022年3月27日

カトリック浅草教会
主任司祭 晴佐久昌英
運営委員長 高岩澄恵

コロナの蔓延は激しく、身近に感染者が出ています。
主日のミサにも無症状の感染者が自覚なしに参加されている方がいる可能性もあります。
浅草教会は、コロナ感染防止「対策」については、万全を期してきましたが、感染者が出た時の「対応」については取り決め・ルールがありませんでした。
今後は、以下の3点の「対応」を取らせていただきたく、信徒の皆さんのご協力をあらためてお願い申し上げます。

- ① こういうケースの時は、ミサに参加しないようにしよう
- ② もし、ミサ参加後に自分がコロナに感染したことがわかったら、教会に連絡をしてください。
- ③ ミサにコロナ感染者が参加していた時、教会としてどうするか。

①教会に来る前に...

もう一度、ご自身や廻りの健康チェックしてください。

- ・ 体調の悪い方、持病(基礎疾患)のある方には、いのちを守ることを優先して、どうか自宅でお祈りくださるようお願いいたします。
- ・ 無症状であっても、少しでもコロナ感染の可能性のある方は、ミサや入門講座への参加をご遠慮ください(※)。

※同居されているお子さん・お孫さんがコロナ感染されている場合や、同じ職場でコロナ感染者が出た場合は、PCR検査を受けて陰性であることを確認、10日間ほどは、ミサへの参加はせずに、みんなのために、ご自身の安全を確認してください。

① ミサ参加後に、ご自身のコロナ感染がわかったら、教会へ連絡をしてください。

ミサや入門講座に参加後に、ご自身のコロナ感染がわかったら、**浅草教会コロナホットライン 070 7667 5260** へ電話を入れてください。朝9時から夕方6時まで通話可能です。

- ・ ミサに参加した後に、コロナに感染したことが判明した人が対象です。
- ・ その際あなたの感染の事実は、電話を受けた運営委員と神父様以外には決して伝わりません。プライバシーは守られます。
- ・ 「コロナ感染者」の調査ではないので、**ミサに参加していない人がコロナに感染したとしても、報告は不要です。**病院・自宅などで養生をして、回復に努めてください。

「ミサ参加後に、ご自身のコロナ感染がわかったら」とは？

（自覚症状がある場合）

- ・ 水曜日までに、熱や自覚症状が出て、医者にご相談したり、PCR検査を受けたら、陽性だった場合
- ・ ただし、木曜日以降に熱や自覚症状が出た場合には教会に来ないで、様子を見てください。

（自覚症状がない場合）

- ・ 全く症状がないが、身近のもの（こどもや孫）や同じ職場のものがコロナに感染したことがわかり、念の為、PCR検査を受けたら、陽性だった。

③ ミサにコロナ感染者が参加していた時、感染防止のため、原則として翌週の主日のミサは中止とします。

- ・ 一番大切なことは、信徒の健康と安全です。
- ・ コロナ感染者のミサ参加が判明した場合には、信徒の皆さんに浅草教会のラインで、1から3の内容が告知されます。
 1. ○月○日のミサにコロナ感染者がいたこと。
 2. ご自身の体調を参考に、不安な方は、医者にご相談する、ご自身でPCR検査を受けるなどして、安全をご確認してほしいこと。
 3. 翌週のミサを開催するかどうかの通知と、諸行事がいつから再開されるかの告知。
- ・ 浅草教会のラインに加入していない方は、今まで通り、カードにご記入してください。電話などで同じ内容が告知されます。 (→表現変更予定)